

第二次時津町子ども読書活動推進計画書

～ 読書の楽しさにあふれた町
大切な1冊の本に出会える町 ～



平成26年3月
時津町教育委員会

はじめに

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、そして生きる力を身につけていく上で欠くことができないものです。

本町では、昭和53年に時津図書館が開館し、その後昭和59年には東部コミュニティセンター、平成11年には北部コミュニティセンターに分館を設置しました。また、学校図書館に司書を配置することなどにより、読書活動が積極的に展開されてきました。

こうした中、子どもたちがあらゆる機会と場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、読書環境の充実を目指して、平成19年3月に「時津町子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動の推進を図ってまいりました。

これまでの取組の成果と課題を踏まえ、今回新たに平成26年度から5年間の「第二次時津町子ども読書活動推進計画」を策定いたしました。時津町教育委員会では、「子どもの読書活動」を本町の子どもたちが豊かな人間性や確かな学力を身に付けるための基盤や、今日の高度情報社会を生き抜く力の礎として位置付け、この計画に基づいて子どもが読書に親しむ機会と環境を整備・充実するための方策に積極的に取り組んでまいります。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり多大な御尽力を賜りました「第二次時津町子ども読書活動推進計画策定委員会」の委員の皆様をはじめ、アンケートなどで貴重な御意見をいただきました皆さんに厚くお礼を申し上げます。

平成26年3月

時津町教育委員会
教育長 神近 孝司

目 次

第1章 第二次時津町子ども読書活動推進計画の策定にあたって	
1 計画策定の目的	1
2 計画の対象	1
3 計画の期間	1
4 時津町のめざす姿	
(1) 読書の楽しさにあふれた町	2
(2) 大切な1冊の本に出会える町	2
5 計画の基本方針	
(1) 家庭、地域、幼稚園、保育所、学校、図書館を通じた 子どもの読書活動の推進	2
(2) 読書活動推進のための環境整備・充実	2
(3) 各関係機関の連携・協力	3
6 計画の体系	4
第2章 第二次計画推進のための取組	
1 家庭・地域における読書活動の推進	
(1) ブックスタート事業による保護者への啓発	5
(2) 「家族10分間読書運動」の推進	5
(3) 児童館や社会教育施設での読書活動の推進	6
2 幼稚園、保育所における読書活動の推進	6
3 学校における読書活動の推進	
(1) 学校図書館における読書活動の推進	7
(2) 公立小中学校における「朝の読書」の推進	8
(3) 公立小中学校における読書力の向上	9
(4) 障害のある児童生徒の読書活動の推進	9
4 時津図書館における読書活動の推進	

(1) 乳幼児向けおはなし会	10
(2) 乳幼児および児童へのサービスの維持・充実	11
(3) 中高生向けYAコーナー（ヤングアダルトコーナー）の充実	11
(4) 図書の充実および環境の整備	12
(5) 学校図書館との連携	12
(6) 読み聞かせボランティアの養成と支援	13
(7) 広報・啓発活動の充実	13
(8) 図書館事業の取組	13
5 図書ボランティアによる読書活動の推進	14

第3章 第一次計画における取組・成果

1 家庭・地域における読書活動の推進	
(1) ブックスタート事業による保護者への啓発	16
(2) 「家族10分間読書運動」の推進	16
(3) 児童館や社会教育施設での読書活動の推進	17
2 幼稚園、保育所における読書活動の推進	17
3 学校における読書活動の推進	
(1) 学校図書館における読書活動の推進	17
(2) 公立小中学校における「朝の読書」の推進	18
(3) 公立小中学校における読書力の向上	19
(4) 障害のある児童生徒の読書活動の推進	19
4 時津図書館における読書活動の推進	
(1) 乳幼児向けおはなし会	19
(2) 乳幼児および児童へのサービスの維持・充実	20
(3) 中高生向けYAコーナー（ヤングアダルトコーナー）の充実	20
(4) 図書の充実および環境の整備	21
(5) 学校図書館との連携	21
(6) 読み語りボランティアの養成と支援	21
(7) 広報・啓発活動の充実	22
(8) 図書館事業の取組	22

5 図書ボランティアによる読書活動の推進	23
----------------------	----

(資料1) 子どもの読書活動推進に関するアンケート調査

1 調査対象	24
--------	----

2 調査期間	24
--------	----

3 調査内容	
小学生用調査票	25～26
中学生用調査票	34～35

4 調査結果	
小学生 結果	27～33
中学生 結果	36～42

(資料2) 第二次時津町子ども読書活動推進計画策定委員会委員名簿	43
----------------------------------	----

第1章 第二次時津町子ども読書活動推進計画の策定にあたって

1 計画策定の目的

子どもの頃から本に親しむことは、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きるための力を身につけていく上で欠くことのできないものです。

しかし近年、子どもたちを取り巻く環境は急激に変化し、テレビ、携帯電話、インターネット、ゲームなどのさまざまな情報メディアや情報媒体の発達・普及により、多様かつ大量の情報が簡単・瞬時に入手できるようになりました。国が平成20年に策定した「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第二次）」の中で述べているように、このような情報化によって利便性が向上した反面、テレビやインターネットを見る時間に比べ読書時間が極めて少なくなり、文字・活字離れが懸念されている状況です。このような状況を受け、国は平成22年を「国民読書年」と定め、読書への意欲を高めるための施策を推進してきました。

全国の小・中・高等学校の児童生徒の読書状況について、全国学校図書館協議会と新聞社が共同で行っている読書調査（平成25年度第59回読書調査）によると、子どもの1ヵ月の平均読書冊数は、小学生が10.1冊、中学生は4.1冊、高校生が1.7冊となっており、年齢とともに減少しています。小・中学生は高い数値を示していますが、継続的な読書習慣を身につけるための取組が今後も必要不可欠です。

時津町では、平成19年3月に「時津町子ども読書活動推進計画」を策定し、時津町の子どもたちが本との出会いにより、豊かな心と精神を育み、子どもたちの夢を更に広げてゆくため、子ども読書活動の推進に積極的に取り組んでまいりました。また、まちづくりの指針である「第5次時津町総合計画」において、“豊かな心と学びのあるまちを創る”ための主要な施策の一つとして、「家庭、地域、学校における読書機会の提供や図書館事業の推進に向けたボランティアの育成・支援」に努めているところです。

町の第5次総合計画をふまえ、時津町の子ども読書活動の歩みをさらに推し進めるべく、「第二次時津町子ども読書活動推進計画」を策定し、家庭、地域、学校、町立図書館がそれぞれの役割を果たしつつ相互に連携しながら、子どもたちが読書に取り組みやすい環境づくりを引き続き支援してまいりたいと思います。

2 計画の対象

この計画における対象は、おおむね18歳以下のすべての子どもとします。

3 計画の期間

計画の期間は、平成26年度から平成30年度までの5年間とします。

4 時津町のめざす姿

(1) 読書の楽しさにあふれた町

家庭、地域、幼稚園、保育所、学校など関係機関と連携・協力し、あらゆる機会を捉えて読書および言葉の魅力や楽しさを感じることができるよう努め

ます。そのために、「読み聞かせ（読み語り）」（以下「読み聞かせ」と言う）や読書の時間を十分確保し、子どもの発達段階に合わせて読書の楽しさを伝えていきます。

（２）大切な１冊の本に出会える町

子どもたちが自分にとって大切な１冊と出会えるためには、時津図書館や学校図書館など本を手取る環境を整備することが求められます。また、本を読んであげる人や本を届ける人など、子どもに読書の楽しさを伝える人の存在が大切です。大人自身が読書の意義を理解したうえで魅力的な本を子どもたちに提供できるよう、人材の育成に努めます。

５ 計画の基本方針

時津町では国や県の基本方針および町のめざす姿を踏まえ、次の点を基本方針とします。

（１）家庭、地域、幼稚園、保育所、学校、図書館を通じた子どもの読書活動の推進

時津町のめざす姿として掲げた、「読書の楽しさにあふれた町」にするためには、乳幼児期から楽しく読書に親しむ機会を作るとともに、読書の習慣を身につけることが重要です。

このためにはまず、大人自身が読書の意義を理解し、家庭で率先して読書する姿勢を示すことが必要です。そのうえで、社会全体での取組が必要であり、それぞれの関係機関が子どもの読書活動の意義を理解し、その担うべき役割を果たすことが求められます。

（２）読書活動推進のための環境整備・充実

子どもの自主的な読書活動を促進するためには、子どもが身近に本に接することのできる時津図書館、学校図書館などの施設が果たすべき役割は大きく、それぞれが機能を十分に発揮するために、施設・設備の整備や図書資料の充実が求められます。

また、「大切な１冊の本に出会える町」をめざすために、物的環境と併せて人的環境の整備・充実を図ります。司書教諭や学校司書、図書館司書および図書ボランティアなどの人材を育成・拡充し、子どもたちの発達段階に応じたきめ細やかな読書指導を行います。

（３）各関係機関の連携・協力

子どもの読書活動を効果的に推進するため、子どもの読書活動に関わる幼稚園、保育所、学校、図書館、社会教育施設や民間団体が連携・協力し、推進する体制を整えて取り組むことが重要です。

連携には、状況に応じてさまざまな形態が考えられることから、実情に即した適切な推進体制の整備が求められます。

6 計画の体系

時津町子ども読書活動推進計画体系図

おひざはボクの特等席

家族10分間読書

本から得ることって限りない

家 庭

4ヵ月健診受診者へ
ブックスタートバックの
プレゼント

役立つ情報がいっぱい
図書館はあなたの書齋

幼稚園・保育所・学校

地 域

本館の案内
第2章 第二次計画推進のための取組

ワクワク・ドキドキ
読んでもらうの大好き

※文中＜具体的な取組＞での○は今後も継続して行う取組、●は今後始める取組 を
表しています。

1 家庭・地域における読書活動の推進

(1) ブックスタート事業による保護者への啓発

時津町では乳幼児期からの読書推進を図るため、平成14年度からブックス

スタート事業（※1）を行っています。町保健センターでの4ヵ月健診受診者すべてに、図書館司書とサポーターがブックスタートの説明を添えて、ブックスタートパック（絵本1冊）を手渡しています。このブックスタートをきっかけに、保護者に乳幼児期からの読み聞かせの重要性をもっと理解してもらえるように、今後もブックスタート事業を継続して行います。また、今後も時津図書館へ協力を依頼し、ブックスタート事業の会場である町保健センターにおいておすすめ絵本の読み聞かせの実施をします。

※1…ブックスタートとは、市区町村自治体が行う乳幼児健診などの機会に「絵本」と「絵本を楽しむ体験」をプレゼントする活動です。赤ちゃん
と保護者が、絵本を介して心ふれあう時間を持つきっかけを届けるもの
です。

<具体的な取組>

①「読書の楽しさにあふれた町」に向けての取組

- ブックスタート事業の継続
- 時津図書館による会場での絵本の展示紹介、登録、貸出の実施
- 図書館や児童館、子育て支援センター等で実施される乳幼児向けの催しの紹介
- 対象児の保護者や住民へブックスタート事業のPR

②「大切な1冊の本に出会える町」に向けての取組

- ブックスタートサポーターの養成、研修

（2）「家族10分間読書運動」の推進

家族ぐるみの読書は親子のコミュニケーションの質を高め、子どもの社会性を育む大切な基礎となります。長崎県では、子どもがいる家庭で10分間程度時間を設け、家族が一緒に本を読んだり読み聞かせをしたりする活動を「家族10分間読書運動」と位置づけ、ココロねっこ運動の一環として推進しています。

家庭での読書活動の意義や重要性について、PTA活動を通して広く普及・啓発を図り、保護者の理解を図るよう努めます。

PTAが発行する保護者向けのお知らせ等の各種媒体やPTA研修会等を通して、「家族10分間読書運動」をはじめとする家庭における読書の重要性について保護者の理解や啓発を図ります。

<具体的な取組>

①「読書の楽しさにあふれた町」に向けての取組

- PTA研修会等における、啓発チラシの配布

(3) 児童館や社会教育施設での読書活動の推進

時津図書館から児童館への図書貸出を行っています。地域での読書活動がより進められていくよう、団体への貸出を増やす取組を行っています。

また、町社会教育施設である東部コミュニティセンター、北部コミュニティセンターの2カ所には時津図書館分館があり、地域への図書の提供に努めています。地域の施設を有効に活用し、時津町の子どもたちが本を手にする機会を増やします。

<具体的な取組>

①「読書の楽しさにあふれた町」に向けての取組

- 児童館での催しの際、要望に応じてお話の出前実施
- 各分館の認知度を高めるため、地域へ定期的に勧誘のチラシ配布
- 登録した学校や読書ボランティア団体、地域団体に本と道具の貸出、各団体の読書活動の支援

2 幼稚園、保育所における読書活動の推進

乳幼児期は生まれて初めて言葉や文字に接する時期であり、親子関係をはじめ対人関係を築く出発点となる重要な時期です。この時期の読書体験が生涯にわたる読書習慣に大きな影響を及ぼします。

幼稚園や保育所では言葉のリズムや物語の楽しさを感じさせるため、絵本や紙芝居の読み聞かせを行っています。また、保護者に絵本を通じた乳幼児との触れ合いの大切さを伝えています。

今後、時津図書館との連携の強化を図り、幼稚園や保育所の教職員が、読み聞かせの技術や発達段階に応じた絵本選びの知識などを身に付けることができる機会を設けます。

<具体的な取組>

①「読書の楽しさにあふれた町」に向けての取組

- 園内での絵本や紙芝居の読み聞かせの充実
- いつでも自由に読めるような個人持ちの月刊絵本の配布
- 希望する家庭への絵本の貸出
- 行事などでの大型絵本の導入
- 行事参加時に親子で保育士の読み聞かせを楽しむ
- 保護者対象の育児講座にて、読書活動への理解と絵本の読み聞かせの楽しさ、大切さの体験
- 図書館見学、本を借りる体験

②「大切な1冊の本に出会える町」に向けての取組

- 図書館から本の借り入れ

- 行事の折、未就園児へ絵本の配布
- 各部屋に絵本スペースの設置、および別所に文庫設置
- 読書週間での絵本の展示、貸出
- 掲示板、園だより、父母の会だよりで絵本や図書の紹介

3 学校における読書活動の推進

(1) 学校図書館における読書活動の推進

学校図書館は、学習活動の展開を支える「資料センター」としての役割を發揮しつつ、児童生徒が自ら学ぶ「学習・情報センター」としての役割と、豊かな感性と情操を育む「読書センター」としての役割を求められています。そのためには学校図書館を計画的に活用した学習活動の展開、校内での協力体制や運営の工夫に一層努めることが大切です。

しかしながら、学校図書館にある調べ学習用の資料には、データや情報が古いものもあります。児童生徒に常に信頼できる新しい情報を提供するため、学校図書館の資料の更新を積極的に図ったり、時津図書館を通じて公共図書館の新しい資料を借り受けたりすることが必要です。

また、小学校高学年や中学生になるにつれて授業の中で学校図書館を利用することが難しくなる傾向があり、さらに、学校行事や係活動などもあるため休み時間にも学校図書館に来ることができなくなる児童生徒が多くいます。

そこで、今後より一層時津図書館や各学校間と連携し、よりよい図書を提供するよう努めます。また、司書教諭や学校司書が研鑽を高め、学校図書館を利用した効果的な授業づくりや魅力的な学校図書館づくりに力を発揮することを目指します。

<具体的な取組>

【学習・情報センターとして】

①「読書の楽しさにあふれた町」に向けての取組

- 教科の指導者との連絡を密にし、ニーズに応じた図書の紹介
- 指導要領に基づいた図書館活用カリキュラムの作成、設置
- 選書依頼書の作成と、有効活用のための積極的働きかけ
- 学習に有効なブックリストの作成、活用

②「大切な1冊の本に出会える町」に向けての取組

- 書棚や机の配置、配架、新刊図書等の案内の工夫
- 資料活用の充実のため、各校や町立図書館等の相互連携の促進
- 司書教諭、学校司書の共同研修の場の設定と、内容充実のための学校間における情報共有を推進

【読書センターとして】

①「読書の楽しさにあふれた町」に向けての取組

- 利用者のニーズや推奨図書に合わせた図書購入計画
- ブックトーク、読み聞かせの更なる充実
- 年度初めまたは必要に応じた職員対象図書館オリエンテーションの実施
- 時津町の推薦図書（「時津の子どもたちにすすめたい本」）の見直し

②「大切な1冊の本に出会える町」に向けての取組

- 図書館担当職員の勤務形態の改善による学校図書館利用時間の拡張
- 魅力的な図書館を目指した環境整備や広報活動の促進

（2）公立小中学校における「朝の読書」の推進

学校生活のリズムづくりと児童生徒の読書習慣の確立を図る上で、各学校が全教職員の共通理解のもと「朝の読書」に取り組むことが必要です。

平成24年度に各学校の取組状況調査を行った結果、町内6学校中、朝の読書を毎日行っているのは1校、週に3回行っているのは3校、週2回行っているのは2校と取組にばらつきが見られました。この調査では、各学校の朝の読書の取組について情報交換を行う機会がほとんどないという現状も明らかとなりました。

また、中学校になると、本の選ばせ方や職員会議などで教職員がいない場合の取り組ませ方など、朝の読書における課題も増えています。

＜具体的な取組＞

①「読書の楽しさにあふれた町」に向けての取組

- 図書ボランティアや教職員による定期的な読み聞かせの実施
- 学校の実態に即した「朝の読書」の確保

②「大切な1冊の本に出会える町」に向けての取組

- 職員も児童生徒と同時に読める環境を作るための職員文庫の設置
- 教職員も児童生徒と一緒に読書ができる環境作り
- 効果的な取組方法など、各学校の情報交換の機会を設置

（3）公立小中学校における読書力の向上

児童生徒の読書力を向上させるためには、発達段階に応じて絵本から読み物、小説へと、読書を量から質へ移行させる投げかけ・指導が必要です。また、さまざまなジャンルの本に興味・関心を持たせるための効果的な読書指導も必要です。

そのためには教職員が魅力的な本を知ること、また、児童生徒が本に親しむ

時間をできるだけ多く確保し、読書の楽しみをじっくりと味わえるようにすることが必要です。

<具体的な取組>

①「読書の楽しさにあふれた町」に向けての取組

- 家庭と連携した取組（親子読書等）の充実
- 図書委員会の活動の工夫
- 音読発表会や交流読書、図書館まつり等、学校行事の工夫
- 発達段階別に推薦図書リストを作成、配布
- 教職員に書名とその魅力を添えた図書案内
- 図書館だよりやPTA役員への働きかけにより、保護者への図書案内

②「大切な1冊の本に出会える町」に向けての取組

- 児童生徒のリクエストに応じ、読書の楽しみを増やしていくための予約システムの充実
- 時津図書館を活用した学級文庫の設置

（4）障害のある児童生徒の読書活動の推進

障害のある児童生徒にとって読書は心の糧となり、視野を広げてくれるものです。障害のある児童生徒の読書活動が充実するよう、一人一人の障害の程度や特性、発達段階に加え生活経験などに応じた適切な対応が求められています。

<具体的な取組>

①「読書の楽しさにあふれた町」に向けての取組

- 時津図書館や図書ボランティア、その他の団体等と連携した「お話し会」の拡充

②「大切な1冊の本に出会える町」に向けての取組

- 発達に応じた図書の充実
- 個に応じた読書環境支援のための特別支援コーディネーターの活用

4 時津図書館における読書活動の推進

（1）乳幼児向けおはなし会

時津図書館では、乳幼児を対象としたおはなし会を定期的に行っており、わらべうた・手遊び・絵本の読み聞かせ・おはなし・紙芝居・パネルシアター（※2）などさまざまな内容を通じて、家庭での読み聞かせのきっかけを作っています。

家庭における読書活動を推進するため、今後も乳幼児を対象としたおはなし

会を継続していきます。

※2…パネルシアターとは、布を巻いた大きな板（パネルボード）の上に、絵の人形を貼ったりはがしたり、更には裏返したりしながら、展開する人形劇のことです。歌に合わせて動かしたり、クイズを出したり、手品のようなしかけで驚かせたりと、演じ手と子どもたちが、一体となって楽しむことができます。

<具体的な取組>

- ①「読書の楽しさにあふれた町」に向けての取組
 - 現在行われている赤ちゃん向けおはなし会（月3回）、幼児向けおはなし会（月2回）の内容充実および継続実施
 - ブックスタート事業への支援の充実
 - 乳幼児向け新刊図書紹介の印刷物を毎月配布
 - 幼稚園、保育園の園児が図書館に親しみを持てるよう、積極的な図書館見学の受入れ

（2）乳幼児および児童へのサービスの維持・充実

時津図書館では、乳幼児から小学生までを対象として、図書の貸出、情報の提供、読書相談や行事を実施します。また、読書活動の拠点として家庭・地域・学校・関連施設への支援を進めます。

児童が図書館を活用する力をつけるために、資料の探し方・調べ方や本の選び方についての支援を行っていきます。

<具体的な取組>

- ①「読書の楽しさにあふれた町」に向けての取組
 - 小学校への「お話の出前」の内容充実
 - 「時津の子どもたちにすすめたい本」の年齢別お薦めブックリストの定期的な見直しの実施
 - 子ども読書の日関連事業として、小学生向けに「一日図書館員」を募集し図書館の仕事体験をする機会を提供
 - 親子で楽しめる読書イベント、親子別々のおはなし会や家庭読書の大切さについての講話および、ゲームなどを盛り込んだ子ども読書の日関連事業の開催

（3）中高生向けYAコーナー（ヤングアダルトコーナー）の充実

青年期（中高生）は生き方や進路について考えるなど、自己を確立し心身共に

成長する時期です。中高生向けのYAコーナー（ヤングアダルトコーナー）を設け読書環境の充実を図ります。中学校への情報発信や、時津図書館内に特集コーナーを設けるなど、YAコーナーの存在や蔵書を知らない中高生に周知します。

また、時間的に図書館への来館が難しい中学生のため、学校図書館と連携を取り合い、生徒一人一人の要求に応えます。

<具体的な取組>

①「読書の楽しさにあふれた町」に向けての取組

- 中高生職場体験の受入れ
- 中学生向けブックリストの作成および配布

②「大切な1冊の本に会える町」に向けての取組

- YAコーナーに「職業」「生き方」「趣味」などをの本を配架および充実

（４）図書の実充および環境の整備

読書の基礎を作る乳幼児期、自分で読んだり調べたりすることの楽しみを覚える小学生期、自己を確立していく中高生期のそれぞれの年代に合わせた図書の充実を図ります。子どもたちが求める本や資料を把握し、きめ細やかな図書の提供に努めます。また、社会の興味・関心、貸出の傾向などを敏感に察知し、選書に反映します。

時津図書館本館以外も分館を積極的に利用してもらうよう働きかけたり、定期的に新刊やおすすめの本の情報提供をしていきます。

時津図書館は授乳室や畳コーナーがあり、親子連れでも利用しやすい環境作りに努めています。今後も乳幼児から大人まで、さまざまな年齢が利用しやすい環境作りを行います。

<具体的な取組>

②「大切な1冊の本に会える町」に向けての取組

- 発達段階に合わせた子ども読書コーナーの充実や司書おすすめ本の紹介

コーナーの整備

- 分館の蔵書の定期的な見直しおよび、より地域のニーズに即した書架の整備

整備

- 図書館の開館時間の延長（土曜日午前9時から午後7時まで）
- インターネットでの資料検索や予約ができるような環境の整備

(5) 学校図書館との連携

子どもたちの最も身近にある学校図書館がよりよく活動できるように、学校のニーズを把握し、各学校の授業内容に沿った図書貸出や資料・情報の提供をします。その際、児童生徒が求める図書が未所蔵の場合、他の図書館からの相互貸借などで可能な限り提供します。

また、学校図書館を通じて時津図書館への興味・関心を持ってもらえるよう、時津図書館の本の紹介や行事のPRも定期的に行います。

<具体的な取組>

- ①「読書の楽しさにあふれた町」に向けての取組
 - 年間を通して、小中学校への「お話の出前」の実施

- ②「大切な1冊の本に出会える町」に向けての取組
 - 時津図書館司書、学校図書館司書との定期的な研修会の開催
 - 学校図書館とのネットワーク化の推進

(6) 読み聞かせボランティアの養成と支援

学校や地域において活躍できるボランティアの養成を図るとともに、その活動の場の提供をします。現在ボランティア名簿の作成中であり、今後は名簿に基づき、活躍の場を紹介し、地域に即したサービスの実現に努めます。また、研修の内容を初級・中級・上級と、より専門的な内容を学べるようにします。

<具体的な取組>

- ①「読書の楽しさにあふれた町」に向けての取組
 - ボランティアの協力を得た、分館での幼児向けおはなし会の実施

- ②「大切な1冊の本に出会える町」に向けての取組
 - ボランティア養成講座（初級・中級・上級）の開催
 - 定例で催されるおはなし会やイベントなど、ボランティアの活動の場の提供
 - ボランティア養成講座修了者の中から登録者を募集し、ボランティアリストの作成

(7) 広報・啓発活動の充実

子どもの読書活動に関する理解を深め推進するために、子どもに対してはもとより保護者をはじめとする大人に対しても広報・啓発活動が必要です。

新刊情報や行事について定期的に学校へ情報発信していきます。

<具体的な取組>

①「読書の楽しさにあふれた町」に向けての取組

- 館内において新刊情報の随時発行
- 図書館案内、新刊やイベント等の情報を毎月の広報・HPに掲載および 町や学校の行事などさまざまな機会をとらえて広報・啓発

(8) 図書館事業の取組

図書館は人と本を結びつける場です。普段、図書館を利用しない人も足を運びたくなるような魅力あふれる図書館事業の実施に努めます。図書館事業をきっかけとして図書館を身近に感じ、利用の拡大につながるよう町民に周知し、積極的な参加を促します。

また、図書館事業がイベントのみに終わらず、貸出増加につながるようその後の継続的な取組を実施します。

<具体的な取組>

①「読書の楽しさにあふれた町」に向けての取組

- 子どもたちが気軽に参加できるような工作教室や折り紙教室の開催
- 大人向け「子どもの本の読書会」の開催

②「大切な1冊の本に出会える町」に向けての取組

- イベント内容に関連した図書の収集、展示、紹介

5 図書ボランティアによる読書活動の推進

子どもの読書活動を推進していくためには、地域、家庭、学校の連携が必要不可欠です。それらを結びつける重要な役割を担っているのが図書ボランティアです。

主な図書ボランティアとして、学校単位の図書ボランティアがあります。町内6校のうち3校にあり、時津東小学校ごほんの会、時津小学校ひまわり、時津中学校ハートブッククラブの3団体です。

時津東小学校ごほんの会は、在学生の保護者や地域会員など約30名のメンバーから成っています。昼休みの読み聞かせを年間約30回、朝の読書時間の読み聞かせは全クラスに年間3回ずつ行っています。そのほか、読書週間の読み聞かせや、学校図書館の書架整理および整備、壁面飾りなどを行っています。

時津小学校ひまわりは、在学生の保護者約10名のメンバーから成っており、毎月1回全学年に昼休みの読み聞かせを行っています。また、朝の読書時間の読み聞かせは全クラスに年間1回ずつ行っています。そのほか、人権集会での読み聞かせや、学校図書館の環境整備、壁面飾りなどを行っています。

時津中学校ハートブッククラブは、在学生の保護者や地域会員など13名が所

属しており、朝の読書時間の読み聞かせを全クラスに年間2～3回ずつ行っています。そのほか、学校祭や読書週間など学校行事への参加を行っています。

上記の学校図書ボランティア以外では、個人的に児童館等からの依頼で活動されている方もいます。今後も各関係機関と連携し、図書ボランティアによるさらなる読書活動を進めていきます。

<具体的な取組>

①「読書の楽しさにあふれた町」に向けての取組

- 現在行っている活動の継続

②「大切な1冊の本に出会える町」に向けての取組

- 図書ボランティアとしてスキルアップのための研修・勉強会等への参加、

講演の企画

- 学校司書の資質を高めるための育成支援
- 町内の図書ボランティアどうしの交流
- 新しく図書ボランティアを立ち上げる際の協力

第3章 第一次計画における取組・成果

1 家庭・地域における読書活動の推進

(1) ブックスタート事業による保護者への啓発

【取組・成果】

- ① 乳幼児健診を実施している時津町保健センターで、4ヵ月健診受診者すべてに図書館司書とサポーターがブックスタートの説明を添えて絵本1冊を手渡しています。
- ② 時津図書館において「時津の子どもたちにすすめたい本 乳幼児向き50選」を作成しています。このリストの本は、時津図書館にて借りることができます。
- ③ ブックスタートのフォローアップとして、時津図書館や分館にて0～2歳の乳幼児を対象としたおはなし会（ぴよぴよおはなし会・おはなしぽぽんた・おはなしひらけごま）を毎月継続して開催しており、平成24年度は404人と多くの親子の参加が得られています。
- ④ 図書館司書やサポーターがブックスタート連絡会を開催し、事業に関する情報・意見交換、体制の検討、わらべうたや手遊びの学習等を行っています。

(2) 「家族10分間読書運動」の推進

【取組・成果】

- ① 時津図書館だよりや広報にて、おすすめの絵本や新刊の絵本、親子読書に関する記事を掲載しています。
- ② 時津図書館にて、幼児を対象としたおはなし会を毎月2回、乳幼児を対象としたおはなし会を毎月1回開催しています。
- ③ 子ども読書の日イベントにおいて、読み聞かせ、ストーリーテリング（※3）、ブックトーク（※4）などを実施し、家庭における読書の大切さについて保護者にも啓発を行っています。

(3) 児童館や社会教育施設での読書活動の推進

【取組・成果】

- ① 児童館での読み聞かせがより充実するよう、平成25年度から時津図書館から児童館への図書貸出を行います。各関係機関からの図書貸出の要望にできるだけ応えられるよう努めています。
- ② 東部コミュニティセンター、北部コミュニティセンターの2カ所にある時津図書館分館へ、本館から週2回の配本を行っており、さまざまな本を地域に届けています。

2 幼稚園、保育所における読書活動の推進

【取組・成果】

- ① 貸出の希望をした幼稚園や保育所へ、時津図書館から図書の貸出を月2回行っています。
- ② 時津図書館「子ども読書の日」の行事などの紹介を行っています。

3 学校における読書活動の推進

(1) 学校図書館における読書活動の推進

【取組・成果】

- ① 各学校においては、国語科を中心として学校図書館を利用した調べ学習活動に取り組んでいます。また、総合的な学習の時間などの調べ学習にも学校図書館の機能を活用した学習活動が展開されています。
- ② 全校に学校司書を配置しており、学校司書が図書の貸出および読書相談などを行っています。
- ③ 6校中5校が「県民にすすめる本200選」の配置および紹介を行っています。
- ④ 6校中3校が「時津の子どもたちにすすめたい本」の配置および紹介を行っています。2校は紹介はしていませんが、配置しています。1校は紹介をしていますが配置していないという現状です。

- ⑤ 6校中4校が、新刊情報や授業内容に合わせたブックリストを作成しています。
- ⑥ 6校中5校が、調べ学習用参考図書一覧を作成しています。
- ⑦ 全校で図書の廃棄規準を作成しており、児童生徒や教職員の利用に役立つ適切な図書の選別収集が行われています。

(2) 公立小中学校における「朝の読書」の推進

【取組・成果】

- ① 町内の全小中学校（4小学校、2中学校の計6校）にて、全校一斉に朝の読書を行っています。学校を対象としたアンケートによると、朝の読書を「毎日行っている」のは1校、「週3回行っている」のは3校、「週2回行っている」のは2校でした。実施時間は、「10分」が5校、「15分」が1校でした。
- ② アンケートによると、6校中5校は、職員会議や職員朝会があるとき以外は教員も子どもと一緒に読書を行うようにしています。1校は、読む読まないは教員に任せています。
- ③ 時津図書館から各小中学校に図書の貸出が週2回行われており、さまざまな本を手にする機会を提供しています。

<朝の読書取組についてのアンケート結果（一部抜粋）>

実施回数	週2回	週2回	週3回	週3回	週3回	毎日
実施曜日	月・水	月・金	月・水・金	月・火・金	月・水・木	—
実施時間 と 時間帯	10分 8:00~ 8:10	10分 8:00~ 8:10	15分 8:00~ 8:15	10分 8:15~ 8:25	10分 8:10~ 8:20	10分 8:00~ 8:10
本の種類						
朝の読書 で読む 本の紹介 の有無	している	していない	している	している	している	している

誰が紹介 をしてい るか	学校司書 教員 児童生徒 (図書係・ 図書委員)		学校司書 教員 児童生徒 (図書係・ 図書委員)	教員 児童生徒 (図書係・ 図書委員)	学校司書 教員 児童生徒 (図書係・ 図書委員)	学校司書 教員
--------------------	--------------------------------------	--	--------------------------------------	------------------------------	--------------------------------------	------------

(3) 公立小中学校における読書力の向上

【取組・成果】

- ① 全校で「朝の読書」に取り組んでおり、朝の10～15分を読書の時間として確保しています。
- ② 図書委員（児童生徒）、教員、学校司書が、朝の読書におすすめの本を紹介しています。
- ③ 全校とも、全学級に学級文庫を配置しています。
- ④ 「時津町児童生徒読書感想発表会」へ毎年参加しています。
- ⑤ 全校で「学校図書館便り」を発行しています。

(4) 障害のある児童生徒の読書活動の推進

【取組・成果】

- ① 個々の障害の程度や特性、発達段階に応じた本を充実させることで、本に興味や関心を持たせる工夫をしています。
- ② 調べ学習など、学校図書館を使用する際には、級友の協力や教員の援助体制を充実させている学校もあります。
- ③ 時津図書館から各小中学校に週2回本の貸出を行っており、その本を通級指導教室に置いている学校もあります。
- ④ 時津図書館司書によるおはなしの出前や図書ボランティアや地域団体によるおはなし会の実施を行っている学校もあります。

4 時津図書館における読書活動の推進

(1) 乳幼児向けおはなし会

【取組・成果】

① 毎月、読み聞かせのおはなし会を実施しています。時津図書館本館では、幼児を

対象として毎月第1・3水曜日に「おはなし会」が行われています。3歳児未満を対象としては、本館で毎月第1木曜日に「びよびよおはなし会」、北部分館で毎月第2木曜日に「おはなしぽぽんた」、東部分館で毎月第3木曜日に「おはなしひらけごま」が行われています。

② 「時津の子どもたちにすすめたい本」として、乳幼児向き50選を作成し、コーナー設置を行っています。

(2) 乳幼児および児童へのサービスの維持・充実

【取組・成果】

① 「時津の子どもたちにすすめたい本」として、乳幼児向き50選、小学校1・2年生向き40選、小学校3・4年生向き30選、小学校5・6年生向き30選と、年齢別お薦めブックリストを作成し、コーナー設置を行っています。

② 子どもと本を結びつけるために各種行事を行っています。
下記は、主な行事の一覧です。

(3) 中高生向けYAコーナー（ヤングアダルトコーナー）の充実

【取組・成果】

① 平成25年3月末現在、YAコーナーには5,202冊の蔵書があります。

書籍にとどまらず、職業選択に役立つ資料の収集・提示に努めています。

- ② 中高生の知的活動を促進し、多様な興味・関心に応えられる魅力ある資料の充実を図っています。

(4) 図書の充実および環境の整備

【取組・成果】

- ① 平成25年3月末現在では書籍のほか、紙芝居783、ビデオ1,310、CD1,581、カセット184、DVD590の蔵書があります。
- ② 時津図書館で借りることができる「時津の子どもたちにすすめたい本200選」のリストを作成し、周知に努めています。
- ③ 乳幼児、児童生徒に対して、読書推進のためのイベントや行事を実施しています。

(5) 学校図書館との連携

【取組・成果】

- ① 週2回火曜日と金曜日に、時津図書館から学校図書館へ本の貸出を行っています。
。授業に使用する資料、学級文庫、図書室文庫、職員室文庫などの貸出を行い、児童生徒のより一層の読書推進を図っています。
- ② 希望する小中学校に出向き、時津図書館司書がおはなしの出前（読み聞かせ）を行っています。小中学校ともに、場所は学校図書室で行っています。小学校では学級ごとに授業中に行い、中学校では昼休みに行っており学年問わず自由に参加ができます。
- ③ 図書館見学の受入れを行っています。平成24年度は小学校の見学受入れを行いました。

- ④ 中学生や高校生の職場体験学習の受入れを行っています。平成24年度は町内外の5つの中学校と1つの高等学校からの受入れを行いました。

(6) 読み語りボランティアの養成と支援

【取組・成果】

- ① 読み語りボランティア養成講座を行っています。平成24年度は3回実施し、7人の受講者が修了しています。
- ② 時津図書館本館で毎月第1・3水曜日に行われている幼児向けのおはなし会には、ボランティア2名が参加しています。
- ③ これまでボランティア講座を受けても活かせる場がなかったので、今後は積極的に活動の場を提供するため、時津図書館ボランティア登録名簿を作成しました。今後は、子ども読書の日のイベントなどで読み聞かせを行ってもらうよう検討をしています。

(7) 広報・啓発活動の充実

【取組・成果】

- ① 広報とぎつに「時津図書館だより」を掲載し、新着図書や毎月の行事を紹介しています。また、おすすめの本や行事について時津町HPに毎月掲載しています。
- ② 時津図書館児童室新聞「もりのなかだより」、時津図書館だより「Oasis」を発行しています。

(8) 図書館事業の取組

【取組・成果】

- ① 平成24年度に行われた図書館事業は下記のとおりです。

- ② 年間をとおして行われた事業は以下のとおりです。

5 図書ボランティアによる読書活動の推進

【取組・成果】

- ① 時津図書館が実施している乳幼児向けおはなし会で、読み聞かせを行っています。

- ② 町内6校のうち3校には、学校図書館の図書ボランティア団体があり、朝の読書や昼休みに読み語りの活動をしています。また、読み語り以外にも、学校 図書館の整理・整備等も行っています。

(資料) 子どもの読書活動推進に関するアンケート調査

1 調査対象

町内4小学校および2中学校（計6校）の児童生徒。
各学年で一学級を抽出してもらい、アンケートの回答を依頼しました。

2 調査期間

平成25年1月7日～2月1日

3 調査内容

家庭、学校図書館、時津図書館での読書活動についてアンケートを行いました。
平成19年度の「時津町子ども読書活動推進計画」策定時に行ったアンケートと同内容です。

調査票の内容については小学生用が25・26ページ、中学生用が34・35ページのとおりです。

4 調査結果

調査結果については小学生の結果が27～33ページ、中学生の結果は36～42ページのとおりです。

第二次時津町子ども読書活動推進計画策定委員会委員名簿

職名	氏名	団体および職名
委員長	相川 節子	時津図書館長
委員	渡海 富美	時津図書館司書
〃	一瀬 輝美	幼稚園代表 (ひらき幼稚園長)
〃	扇 美智子	保育園代表 (時津保育所長)
〃	尾道 利沙	町PTA連合会代表
〃	大塚 久子	図書ボランティア
〃	金谷 玲子	校長代表 (時津東小学校長)
〃	平塚 良子	小学校 司書教諭 (時津東小学校)
〃	佐藤 千景	小学校 学校司書 (時津小学校)
〃	島田 由起子	中学校 司書教諭 (時津中学校)
〃	田平 理栄	中学校 学校司書 (鳴北中学校)
〃	山本 優子	町保健師
〃	中谷 俊光	学校教育課 専門幹